

須永金二郎 (あきひら) 小説家。慶應二年十月下野國生れ、大正十一年一月、二十五日歿(一八六一一九三三)。筆名少年女、文のやたより、文藝家たより、文藝家、翠樟居士、紫花園主人、紫花園累世、須永吾撰等。

年一月、二十五日歿(一八六一一九三三)。筆名少年女、文のやたより、文藝

家たより、文藝家、翠樟居士、紫花園主人、紫花園累世、須永吾撰等。

博文館の文藝雑誌『よもぎと錦』(明治二十一年十一月創刊)等の編輯に

従事、自ら文藝家たよりの筆名で「入鬼」、「古葛籠」、「たぐいぎ」

を發表。

著書『改選 餘説 田舎紳士』(文藝家たより名、明治二十一年六月、二十五日

山本常次郎刊、隆徳堂主藏板)、『吾國史』(明治二十二年五月八日博

文館「萬國歴史大全書」(一)、『少年學術共進會・第二冊』(編、明治二十

二年八月、二十三日博文館『日本女子少年』(號外)、『婦女手藝法』(明

治二十六年二月、二十日博文館「女學全書」)等。

